

身体に調和した噛める技工装置を作る

～シークエンシャルオクルージョンの補綴設計コンセプト～



前川 泰一

歯科技工士が補綴装置を製作する上で押さえておくべき項目は、美（形体の模倣、色調の一致）と咬合（噛み合わせ）であり、その両者をバランスよく満たすことにより、最適な治療となる。また、近年の歯科業界全体のデジタル化への変化は顕著であり、AIの進歩によって補綴装置の製作方法が大きく変化しようとしている。しかし、歯科技工士の領域である技工装置を最終的に製作するためには、我々の手作業によるところが大きく、わずか数ミクロンの調整で体の機能が回復する事例もよく耳にするように、咬合は特に重要だと考える。

本日は、その両者のうち咬合に特化し、機能を回復する事を目標とした「シークエンシャルオクルージョン」のコンセプトをお伝えし、患者個々の噛み合わせに合った補綴設計、補綴装置製作法を説明させていただき、この発表がこれからの技工人生の1つの指針になればと思っている。

【略歴】

- 1995年 前川デンタルラボラトリー開業
- 1998年 JIADS 修了
- 2003年 Sequential occlusion Wax-up コース修了
- 2005年 Sequential occlusion Dr コース修了
- 2006年 S.J.C.D テクニシャンコース修了
- 2006年 ICOI（国際インプラント学会）FELLOW 取得
- 2006年 歯然の会 ベーシックコース、アドバンスコース修了
- 2008年 （株）前川デンタルラボ新設
- 2008年 Advanced Total Diagnosis Course 修了
- 2009年 USC ジャパンプログラム（ロサンゼルス）修了
- 2009年 Oral Design OSAKA コース 修了
- 2011年 大阪セラミックトレーニングセンター宮崎校 入学
- 2012年 同校 卒業 西村賞受賞
- 2013年 BPS 認定コース修了
- 2015年 筒井塾 歯冠修復コース修了
- 2015年 Dieter Schulz wax-up course（ドイツ ヘッペンハイム）修了

大阪セラミックトレーニングセンター宮崎校同窓会関西支部長

ICOI（国際口腔インプラント学会）技工部委員長

日本顎咬合学会 常任理事 指導技工士 技工士部会部長